シニアCO-OPわかやま

北東西南（NEWS）
2020年　秋号

人生の完成期、輝いて生きる！

組合員数 4,274名（2020年９月30日現在）

発行所　和歌山高齢者生活協同組合
住　所　和歌山市里198－1
電　話　(073)488－1180
ホームページ　和歌山　高齢協　検索

もくじ

・巻頭特集「コロナに負けず元気に活動」　1～3面
・輝く組合員　表彰を受けたお2人を紹介　4～5面
・脳トレクイズ「和歌山の偉人編」　10面

コロナに負けず元気に活動

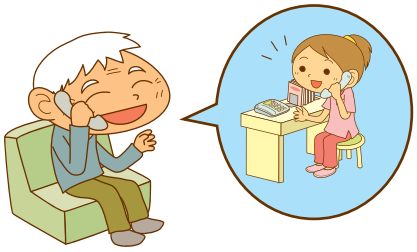
新型コロナウイルス感染拡大を受け、様々な行事が中止、縮小を余儀なくされています。高齢協の組合員活動も同様で、和歌山市里のやまぐちささえ愛センターや同市中之島の紀和庵はしばらく休館になりました。

今回はそんなコロナ禍でも、創意工夫をこらして活動再開にこぎつけた事例を紹介します。外出できないストレスに負けないで、皆で乗り越えていきましょう！

組合員のためのなんでも相談電話

毎月定期的に、電話で直接、組合員のみなさまの声を受け止め、共に解決を目指します。

原則毎月第２木曜日午前 10 時～午後３時に受付。年金や相続、暮らしの身近な困りごとなどなんでも結構です。お気軽にお電話ください。



〈次　回〉12 月 10 日（木）午前 10 時～午後３時

相談専用ダイヤル　０７３－４８８－１２３７（上記日時のみつながります）

※詳細は同封のチラシをご覧下さい。

手を尽くし『笑顔の再会』～わがらカフェ

♪高原列車は　ラララララ　行くよ――♬

紀の川市上野の和我楽の家で10月15日、わがらカフェが開かれました。集まった地域住民は約15人。懐かしの昭和歌謡や唱歌をのびのびと歌い上げ、晴れやかな表情でした。

わがらカフェは紀の川市つどいの場事業の一環。２０１９年から月に一度、講演会や健康体操、焼き芋大会などを開いてきました。毎回、高齢協の介護福祉士が同席し、暮らしや介護にまつわる相談にも対応。遠方からの参加や毎回参加するなど、好評を得ています。

新型コロナウイルス感染拡大を受け、春先から定期開催を中止。7月から再開しました。再開には感染対策を実施。会場内では演者の前に飛沫防止カーテンを設置し、入口で手指消毒にご協力いただくほか、参加者全員に飛沫防止のためのマウスガードを配布しております。マスクだと、マスク内の空気がこもって歌う際に息苦しさを感じますが、マウスガードだと息をしやすく飛沫も防げます。

15日は和歌山市を中心に活動する音楽グループ「さくらもち」が出演。メンバー3人の歌と演奏に合わせ、歌詞カードを見ながら皆で歌を楽しみます。始まりは同グループおなじみの『高原列車は行く』。続いて、『遠くへ行きたい』を皮切りに『瀬戸の花嫁』『南国土佐を後にして』『函館の女』など旅をテーマにした曲を中心に、約13曲を歌いました。

友人と参加した貴志順子さん（84）は「一人より皆で歌う方が楽しい。今日歌った曲は全部知っていて、若いころ美空ひばりさんのコンサートで聞いた『悲しき口笛』が懐かしかった。趣味は青春18きっぷを使っての旅行でしたがコロナで出られず寂しかった。今日は皆と歌えて楽しかった」と大満足の様子でした。

扱う曲数も開催時間も従来の約3分の2に減らしての開催で、さくらもちボーカルの島久美子さん（64）は「高齢者施設などへの慰問はほとんどキャンセルになり、それまで聞いてくれていた方たちがどのように過ごしているのか心配。きちんと対策をして開催することで、本当に楽しみに待ってくれている人たちに会えるのがうれしい」と笑顔。今回の公演について「国内色んな土地柄を表す名曲がたくさんあり、皆の表情も生き生きとしていました。それぞれの思い出や懐かしい場面を重ね、心身とも元気になりました」と声を弾ませていました。

その他コロナ対策いろいろ

①リモート面会

面会制限期間中、タブレット端末を用いてインターネット回線でご利用者様とご家族様の面会が実現しています。

②ささえ愛ビクス分けて実施

やまぐちささえ愛センターで開催している体操の会「ささえ愛ビクス」では参加者が20人を超える日もあったため、曜日を分けて2グループで開催することで「密」の軽減を図りました。

③感染症対策セミナー開催

7月には感染管理認定看護師を招いての職員研修を実施。実際に事業所も見てもらい、衛生面でリスクのある場所を指導いただきました。

④伊都橋本事業所は床の貼り替え

衛生環境の向上を目的に、めくれたり破れたりしていた伊都橋本事業所の床を抗菌素材のマットに貼り替えました。

⑤御坊日高事業所が移転

従来はプレハブ1棟の事業所でしたが、広い賃貸物件へ引っ越し（9面に詳細記事）。広くなったことで職員の「密」が軽減されました。

⑥リモートワーク&ネット会議の活用

ノートパソコンから職場のパソコンにアクセスできるよう設定することで、在宅勤務が可能に。なるべく職場で働く回数を減らして職員間の接触を減らすことができました。また、ネット会議ソフト「ZOOM」を活用した会議も数を重ね、所長会議や理事会などあらゆる会議で遠方からのリモート参加を取り入れています。

通信の文字が大きくなりました

今年新年号から、紙面の全面リニューアル、巻頭巻末のカラー化などに取り組み、多くの反響をお寄せいただいて感謝しております。ただ、情報量が増えた分「文字が小さくて読みづらい」との声も多数いただいておりました。

そこで、今号から毎号12ページに変更し、併せて1ページ当たりの文字数を減らすことで文字を大きくすることにいたしました。これからも高齢協の通信をご愛読いただき、様々な組合員活動、地域活動にお役立てください！

掲載希望、情報提供などは高齢協本部（073・488・1180、担当：林）まで。

新型コロナウイルス感染拡大を受け、様々な行事が中止、縮小を余儀なくされています。高齢協の組合員

↓

新型コロナウイルス感染拡大を受け、様々な行事が中止、縮小を余儀なくされています。高

文字が大きくなりました

輝く！組合員！⑦

「福祉のかっちゃん」今も現役

井上　勝彦 さん（78）橋本市

公共の福祉増進に功労のあった人をたたえる県知事表彰の「地方自治の振興」に今年選ばれた。高野口町議、合併後は橋本市議として計8期28年、政治の世界に身を置き、「福祉のかっちゃん」として常に弱い立場の人たちに寄り添ってきた。「受彰はみんなのもの。みんなが幸せになれる政治を信条に取り組み、多くの人に支えられて今日までやってこられました」と笑顔を見せる。

戦後間もないころに少年期を過ごし、2人の弟を学校へ行かせるため自身は中学卒業後、家業の古美術商の手伝いやアルバイトに励んだ。古美術商を営むかたわら1982年、伊都・橋本ボランティアクラブを歌や踊りのサークル仲間と共に結成し、福祉施設の慰問を始めた。

介護保険制度もない当時、福祉施設は「入ったら帰れない」とのイメージ。訪問した施設の職員は専門の研修を受けておらず、日用品も不足する状態で、利用者から「よく来てくれた」「家に帰りたい」と涙ながらに喜ばれた。ボランティア活動で現場を変えるには限界を感じ、福祉に力を入れた政治の必要性を感じた。

1991年、47歳で高野口町議選に出馬し初当選。以降、「福祉のかっちゃん」と親しまれ、高齢、障害分野を中心に一人ひとりの声に耳を傾け、政治に情熱を注いできた。2003年には高野口町内に初の老人施設が開所。議会で何度も施設の必要性を説き、町の開設支援制度を受けての実現だった。「慰問先で『地元の高野口へ帰りたい』という人がいたが町内に受け皿となる施設がなかった。必要性に共感する仲間の惜しみない協力と、共に開設に向けた運動をできたのが誇りです」

このほか、障害児施設の開設を目指す人に地区の集会所を紹介して立ち上げを支援し、公営住宅建設の際はバリアフリーをいち早く提案し、国が設置しなかったエレベーターを町の持ち出しで取り付けるなど、常に立場の弱い人の目線に立ち続ける。

20年前には高齢協の中西優前理事長から提案を受け、娘の美香さんを中心に訪問介護事業所を開設。暮らしの困りごとを助け合いの精神で解決するお助け隊も立ち上げ、政界を引退した昨年から活動を引っ張る。今後は使われなくなった公共施設を福祉拠点に活用しようと考えており、「本当に困っている人は今も相談に来てくれます。貧富の差は拡大する一方で、政治は地方から変えていかないと変わらない。市民が団結し、発信と行動、そして『おかしい』と感じることに声を上げていくことが大切」と意気込んでいる。

輝く！組合員！②

恋人の聖地で“人命救助”

阪中　利和 さん（76）白浜町

太平洋に切り立つ断崖の高さは50メートル。国の名勝に指定されている風光明媚な三段壁（白浜町）で、海へ身を投じようとする人がいないかパトロールを続ける。9月には転落防止柵の外側にいた女性を助け、白浜署から感謝状が贈られた。「うれしいのはもちろんですが、当然のことをしただけ。白浜の良いところを深く知ってもらい、良い印象を広めたい」と声を弾ませる。

貴志川町出身（現紀の川市）。大阪で化粧品の小売業を自営していた。タクシードライバーを経て、釣り好きが高じて白浜町へ移住。アオリイカやグレなどを釣って楽しむほか、人と話すのが好きな性格から、県観光ガイド専門員として観光パンフレットには載っていない歴史や人物、恋人の聖地である三段壁に残る逸話などを紹介する。

5年前には県の研修を1年間受け、紀伊半島の雄大な地形の成り立ちを案内する南紀熊野ジオパークガイドに。白浜で温泉が湧く理由、三段壁や千畳敷など特徴的な地形の成り立ちや岩石の成分なども発信する。「せっかく観光で来てくれたのに、景色を見てきれいだと感じて終わり、というのはもったいない。見えている景色について深く知ると見え方も違ってきます」

8年前から町のシルバー人材センターで働く。温泉「崎の湯」の駐車場係と三段壁の見回りだ。6年前から担当する見回りは、冬は午後5時、春秋は6時、夏は7時に三段壁を訪れ約30分パトロールする。

雨の日の夕暮れなど普通の観光では考えられない時間に三段壁を訪れる人に声をかける。これまで、この世の隅でかろうじて生きているような表情で無言のままいる女性、断崖に身を置いて飛び降りようとする女性など、自殺しかけていた5人を救った。

見つけた際はなるべく相手を刺激しないよう言葉を選びながら近づく。ひょうきんな性格と化粧品販売で培った話術で巧みに相手の心をほぐし、安全な場所へと導く。暴れそうであれば少林寺拳法の経験を生かして警官が到着するまで飛び降りないよう抑え込むこともあった。

間違えると自らも落ちる可能性がある断崖で相当な緊張感が走る。「無事保護できた時は心臓がバクバクしています。命を張ってパトロールしろとは言われていませんが、いざ直面すると体が動いてしまうんです」と笑う。

「今は大丈夫ですが、活動を始めてから3年の間は、暗がりをパトロールするのが怖かった。こうした活動を続けられるのも白浜が大好きだから。地元の人が白浜の良さを誇らしく語れるようにしたいです」と張り切る。

高齢協の
ここに注目!!

④ＥＭ菌で丈夫な米栽培

和歌山市の山口地域にある日延地区で農家を営む竹田茂樹さん（60）はＥＭ菌を使った水稲栽培に挑戦して約10年。今年夏から高齢協が運営するサービス付き高齢者向け住宅「やまぐちおたっしゃ館」（和歌山市里）にこだわり米を届けています。「口に入れるものなので、なるべく生き物を殺すものは使わずに育てたい。健全で丈夫に育った稲は体に良いと思います」とほほえみます。

江戸時代から代々農家を続けてきた竹田さん一家。紀の川から水を引き、田植えの時期は親戚家族集まって1町8反の水田で稲を育てています。

「活性酸素を発生させる菌を農業で使わないか」。友人の紹介でＥＭ菌に出合ったのが10年前のこと。試しに夏の消毒の際、農薬の代わりに菌を混ぜた液体を噴霧器でまいたところ、病害虫が減るなどの効果が見られました。「もともと、農薬の代わりに焼酎やトウガラシを使った液体などを考えていましたが、ＥＭ菌で効果が確認できたので使っていくことにしました」

収量は農薬に比べわずかに減少しましたが、それでも「健全で丈夫な稲」を優先。種もみの消毒も農薬を使わず60度のお湯で10分浸して行うなど、極力農薬を使わないで済むよう手間を惜しみません。

手がける稲の品種は、食味が良いヒノヒカリやコシヒカリ、和歌山の風土に合った県の奨励品種キヌムスメ、丸々とした粒が特徴のニコマルで、９月下旬から新米の収穫が始まっています。おたっしゃ館では残飯が減り、以前はおかわりをしなかった利用者様がおかわりをするなど大好評。希望する職員も自宅用に購入しています。

「体にやさしい食べ物をなるべく取り入れて長く健康でいてほしい」。その情熱が一粒一粒のお米に詰まっています。

高齢協の
ここに注目!!

⑤やまぐち ささえ愛センター

和歌山市里の「やまぐちささえ愛センター」は組合員の地域活動を応援する施設です。センター周辺でお住いの方だけでなく、組合員であればどなたでもご利用いただけますので、積極的にご活用ください。（特に平日夜間と土日はまだまだ空いています）

施設は、10人程で会議ができる2部屋とキッチン、トイレ、浴室があります。会議ができる2部屋は普段仕切りを外しているため、20人近くがワンフロアで体操できる広々としたスペースです。長机やイス、ホワイトボード、マイクとスピーカー、パソコン、テレビ、インターネット環境など整っているため、映画鑑賞、サークルの集まり、体操や各種文化活動、ネット会議など多用途で使用できます。コロナ対策としては、利用者全員の名簿記入と検温、手指消毒をお願いしており、24時間連続で換気と空気清浄を続けています。

このたび、貸し会場としての料金を設定致しましたので別表をご覧ください。見学や相談を随時受け付けています。毎月20日までに翌月の利用予約を受け付けているので、高齢協本部（０７３・４８８・１１８０）までご連絡ください。

〈別表〉	利用者全員が組合員	利用者の一部が非組合員
午前の部（午前９時～正午）	2,000 円	4,000 円
午後の部（午後１時～５時）	2,000 円	4,000 円
夜間の部（午後６時～９時）	2,000 円	4,000 円

（例）組合員 20 人で午前の部を利用した場合→2,000 円（割り勘すれば一人 100 円で利用可能です）
※利用者全員が組合員でない場合は利用できません　※集まりごとの担当責任者が必要です

活動レポート

なんでも相談電話開始

開催…毎月第2木曜日
場所…電話073・488・1237

高齢期に抱える様々な問題に耳を傾け、適切な対応や必要に応じた専門機関への紹介をできるよう、10月から「組合員のためのなんでも相談電話」を始めました。

2020年度の高齢協事業計画にある「専門性の惜しみない提供」を具現化し、役職員や組合員の専門性を還元することで、組合員の生活の福祉向上につなげようとする試みです。年金や相続、日ごろの暮らしにおける困りごとなど様々な課題を抱えている人と直接つながることで、組合員のニーズを把握し、高齢協の今後の運営に生かします。

次回は12月10日木曜午前10時～午後3時。電話073・488・1237へお気軽にお電話ください。

本部に組合員サロン

開催…平日午前9時～午後5時
場所…本部（和歌山市里）

高齢協本部に組合員が気軽に立ち寄れるスペースを設けました。場所は和歌山市里にあるやまぐちおたっしゃ館と同じ敷地内にあるプレハブです。

日刊紙や福祉関係の機関紙が読めるほか、過去の通信（バックナンバー）、福祉関係の書籍も閲覧できます。また、専用のコーヒーメーカーでいつでも熱くておいしいコーヒーを飲んでいただけます。少人数であれば打ち合わせにも使っていただけますので、お気軽にご相談ください。

平日午前9時～午後5時に利用可能。予約不要（会議利用の場合は要相談）。高齢協本部（073・488・1180）。

ネット回線で「もしバナ」

開催…9月4日
場所…やまぐちささえ愛センター

人生の最期、どう在りたいか――。この難しいテーマを、カードゲームを通して考えたり話し合ったりできるのが「もしバナ」です。このゲームを指導できるマイスター資格を高齢協職員の2人が持っており、9月にはインターネット回線を使った体験会を開きました。

36枚のカードには「いい人生だったと思える」「自分の身体がどう変わっていくかを知る」「家族と一緒に過ごす」などが書かれており、手札を入れ替えながら自らの希望するものに絞ってゆきます。なんとなく「縁起でもない」と避けがちなテーマですが、友人や家族に自分の願いを伝え、理解してもらえるきっかけになります。

体験希望者は高齢協本部（073・488・1180）まで。

活動レポート

ささえ愛センターを清掃

開催…10月7日
場所…やまぐちささえ愛センター

普段利用している施設に愛着を深めてもらおうと10月、和歌山市里のやまぐちささえ愛センターで初企画「ちょっとキレイにしましょう会」を開きました。体操やカラオケで利用する約20人のボランティア有志のみなさんが掃除に汗を流しました。

普段なかなか手入れができていなかったところを重点的に掃除したところ、みるみるうちにピカピカに。参加した皆さんも気持ちすっきり、晴れ晴れとした表情でした。本当にありがとうございました。

今後も定期的に開いていく予定で、都合のつく人が可能な形で、無理なく続けてゆきたいと考えています。お気軽にご参加いただけると幸いです。

オンラインで歌声届ける

開催…9月17日
場所…ささえ愛センター&オンライン

昭和歌謡や唱歌など、懐かしの曲を皆で歌う音楽グループ「さくらもち」の公演が9月、やまぐちささえ愛センターで開かれ、新たな試みとしてインターネットを使った歌声の配信も行いました。

歌い出しは同グループ定番の『高原列車は行く』。NHKの朝ドラでおなじみ古関裕而の名曲で軽やかに始まりました。懐かしの約10曲を、歌詞カードを見ながら歌声を重ね、その様子を高齢協のB型事業所「ワークショップ　てとて」と、白浜のデイサービス「ぬくもりの里」へ映像と歌声を届けました。

インターネット環境があれば、ご家庭にもお届けします。高齢協本部までご相談ください。

御坊日高事業所が移転

開催…9月23日
場所…御坊・日高事業所

御坊・日高エリアで訪問介護事業を行う高齢協の「おたっしゃ倶楽部 御坊・日高事業所」が9月、従来のプレハブ1棟から日高木材協同組合様の事務所施設2階へ移転しました。県産木材（紀州材）をふんだんに使用した建物は木の香りと温かみがあり、事務スペースも3倍以上に広がりました。ヘルパーさんがくつろげる休憩スペース、大勢で机を囲んで話し合える円卓などを備え働きやすい職場づくりへ、大きな一歩を踏み出しました。

新しい住所は「〒644・0002 御坊市薗397－2」です。御坊市役所近くの紀陽銀行交差点から南へ約200メートル（南向き一方通行です、ご注意ください）。

告知板「この指と～まれ！」

「紀和庵　12 月の行事」

住所　和歌山市中之島 782

- 3 日（木）…体操
- 8 日（火）…フラダンス
- 15 日（火）…カラオケ
- 17 日（木）…歌をうたおう
- 22 日（火）…脳トレ
- 24 日（木）…クリスマス会

参加費等詳細とお申し込みは高齢協本部（073-488-1180）。

2017年撮影

フラワーアレンジメント教室

「クリスマス」をテーマにしたフラワーアレンジメント教室を 12 月 20 日（日）午前 10 時から、和歌山市里のやまぐちささえ愛センターで開きます。経験者だけでなく、初心者や親子参加も歓迎。華やかなフラワーアレンジメントを手作りし、クリスマスを迎えませんか。講師は花苗アートエコールを主宰する柿原さちこさんです。

花代込み 3000 円、一緒に参加する子どもさんの体験料 1000 円。花切ばさみ持参。申し込みは高齢協本部（073-488-1180）。　（写真はイメージです）

脳トレクイズ～和歌山の偉人編

①稲わらに火を放って多くの村人をすくった「稲むらの火」で知られる濱口梧陵（写真）は、初代県議会議長も務めました。彼が最期を迎えた場所は？

A 日本　　**B** アメリカ　　**C** イギリス

濱口　梧陵

②世界で初めて全身麻酔下の外科手術を成功させた華岡青洲。麻酔薬の調剤に使った代表的な植物はどれ？

A イチョウ　　**B** ケツメイシ　　**C** 曼陀羅華（まんだらげ）

③「カミソリ大臣」と呼ばれ諸外国との不平等条約改正に尽力した外務大臣、陸奥宗光。就任しなかった役職はどれ？

A 和歌山県知事　　**B** 兵庫県知事　　**C** 神奈川県知事

「脳トレクイズ」の解答

※解答は上下反転して御覧ください

①B アメリカ（若いころから海外へあこがれを抱いていた梧陵は晩年、念願だった欧米への視察の途中、ニューヨークでこの世を去りました）
②C 曼陀羅華（現在の和歌山県立医科大学の校章のモチーフにも使われています）
③A 和歌山県知事（兵庫県知事を明治２年、神奈川県知事を明治４年にいずれも短期間ながら務めました）

組合員 新規加入＆増資のお願い

高齢協は出資金を持ち寄って、組合員相互の助け合いの精神で活動する生協法人です。20 歳以上で和歌山県内に住所（もしくは勤務地）を有する方ならどなたでもご加入いただけます。ご加入の際にお預かりした出資金は高齢協の事業に使われています。事業拡大に伴い、既組合員の方には増資（出資金を追加する）をお願いしております。ご協力をお願いします。

■新規加入・増資の方法
①所定の加入（増資）申込書にご記入ください。
②出資金（一口 1000 円～）と申込書を、高齢協の各事業所か本部へご持参ください。
※申込書は高齢協の各事業所・本部・活動拠点にあり、郵送も致します。
出資金振り込みの場合…紀陽銀行東和歌山支店
普通　１６４７０３７
和歌山高齢者生活協同組合　理事長　田中秀樹
お問い合わせは本部事務局
和歌山市里 198-1　電話 073-488-1180　FAX073-488-1181

■加入によるメリット
・それぞれの「やってみたい」を助け合って実現できる
・組合員活動に参加することで、新しい仲間や生きがいとの出会いがある
・高齢協からの通信が年 4 回届く
などなど

映画紹介「ムービーガイド」

作品名：人情紙風船

監督：山中貞雄　脚本：三村伸太郎
1937 年製作／日本／ 86 分

江戸の棟割長屋。死んだ住人の通夜を「酒が飲める」と楽しんでしまう過激な環境だ。仕官を求める浪人と髪結の男。毎日を侘しく暮らす 2 人が、ひょんなことから起こしてしまった誘拐事件。全編を通して漂う時代の閉塞感。それに対抗するアナーキーな民衆のエネルギーは、今を生きるぼくらに何を問うのか。28 歳で戦病死した山中貞雄監督の遺作にして映画史に残る傑作。ところどころに挿入される紙風船のシーンが哀しく心に響く。

わかやま訪問介護事業所　島　哲也

和歌山高齢者生活協同組合の姿

和歌山高齢者生活協同組合は組合員さんによる互助組織であり、互いの困りごとを助け合う集団です。生きがいづくり事業やお助け隊による生活支援など活動は多岐にわたり、介護・福祉事業にも力を入れています。

◎介護・福祉事業所（和歌山県内 11 ヵ所）

・わかやま訪問介護事業所（訪問介護）
和歌山市楠見中 240-49　電話 073-455-7979
・和歌山ケアプランセンター（ケアプラン作成）
和歌山市中之島 758　電話 073-424-5295
・やまぐち　おたっしゃ館（サ高住）
和歌山市里 198-2　電話 073-462-1055
・れくらん（デイサービス）
和歌山市里 198-2　電話 073-462-5558
・ワークショップてとて（障害者就労継続支援 B 型事業所）
和歌山市里 266　電話 073-461-6756
・伊都・橋本事業所（訪問介護）
橋本市高野口町伏原 243　電話 0736-43-1546
・伊都・橋本ケアプランセンター（ケアプラン作成）
橋本市高野口町伏原 243　電話 0736-44-2330
・御坊・日高事業所（訪問介護）
御坊市薗 397-2　電話 0738-23-0396
・かみとんだ　おたっしゃ館（サ高住）
上富田町生馬 3225-19　電話 0739-47-0866
・白浜ケアプランセンター（ケアプラン作成）
白浜町才野 1322　電話 0739-34-2672
・白浜ぬくもりの里（デイサービス）
白浜町才野 1322　電話 0739-34-2172

◎組合員による活動拠点（施設の使用、問い合わせなどは本部事務局 073-488-1180 へ）

・やまぐちささえ愛センター　和歌山市里 198-3
・いっぷく亭～紀和庵　和歌山市中之島 782
・和我楽の家　紀の川市上野 299-1

◎組合員の活動（ご参加ください）

【お助け隊】和歌山、伊都、御坊、田辺を中心に活動。暮らしの中の困りごとの解決依頼を受け、現役時代の知識や経験を生かして有償ボランティアで活動する。
【JIAS PC（パソコンサークル）】月曜と金曜、紀和庵にて。パソコンを使ってのアルバム作成やワープロの練習、使い方の教え合いなど。（北村さん 090-7107-0892）
【どこ竹@わかやま】竹とんぼ作りの出前教室を小学校やイベント会場で開催。（石橋さん 090-2287-9588）
このほか、ささえ愛センターや紀和庵では、健康体操や絵手紙教室、名曲喫茶など組合員による自主企画が行われています。

◎本部（和歌山市里 198-1　電話 073-488-1180　FAX073-488-1181）

「住所不明」組合員を探しています

次の①②のいずれかに該当する組合員をお知らせします。ご住所、ご連絡先が変わった方は高齢協本部までお伝えください。また、友人・知人でお心当たりのある方も、お手数おかけしますが高齢協本部（電話：073-488-1180）まで情報提供いただけると助かります。**2021年3月31日までに所在の確認ができない場合、理事会の承認を経て脱退手続きを行います。**

①過去2年、高齢協からの郵便物が「宛所不明」で返送される
②過去2年、登録された電話番号で確認が取れない

和歌山高齢協は20周年を迎え、組合員は4000人を超えました。しかし、通信や総代会のご案内などを送らせていただいても、住所変更で返送されてくる方が多数います。高齢協の定款第10条2項では、「住所の変更届けを2年間行わなかったときは、脱退の予告があったものとみなし、理事会において脱退処理を行う」と定めています。

※五十音順　※敬称略　　今号は「和歌山市外」を掲載。

組合員番号	氏名
3206	相生　信子
3443	青木　チカ
288	明石　昭八
3491	足立　芳男
4462	粟津　文子
2298	池田　真一
2299	池田　奈緒美
2964	池本　繁子
4055	石垣　真喜子
3391	和泉　清志
2945	磯部　矢志治
1411	井谷　美智子
1110	伊藤　英治
4417	伊東　万里衛
3155	井上　お米
4627	茨木　愛
3346	今井　義人
1909	岩上　健一郎
4600	岩橋　英夫
4056	上垣　君子
2330	上久保真理子
2618	上野　安司
1008	上野山　恵
98	請川　早苗
1065	宇田　太一郎
1307	梅尾　美春
2359	梅田　朝一
4418	大網　妙子
4062	大原　久美子
2805	大東　キミヨ
1608	小笠原　英子
1683	岡畑　宏
1705	岡本　泰男
1892	岡本　洋子
4406	奥武　泰子
1208	片山　康子
2656	門　てる子
661	川口　洋希
4461	木戸　みゑ
1066	楠本　夫美子
3614	楠本　昌弘
2943	栗栖　亀一
4586	小笹　ふさゑ
4676	小西　信二
3049	小林　稔史
2820	阪口　雅與
287	阪口　圭一
605	坂口　律子
3884	佐々木　聡
3122	佐藤　勉
3463	塩谷　紋江
1413	芝　佑亘
3725	城　由美
2791	大東　正和
139	高岡　克臣
1184	高田　卓也
2294	高松　勇夫
209	武田　達雄
2963	田中　準三郎
2264	谷坂　勉
4227	玉置　益治
2867	田村　泰子
4414	辻　節子
327	辻岡　邑子
1497	土井　和子
2986	堂本　圭佑
4206	得津　政人
1693	殿山　のぶこ
770	永長　裕美
2856	仲　順子
4361	中井　光世
1549	中家　克己
4095	中尾　昭雄
3080	中野　覚
1237	中橋　渡
2705	中前　千恵代
4587	中村　万代
2322	中家　なおみ
221	永山　至
220	永山　しげ子
4061	名郷　芳子
3174	西川　綾子
2763	信谷　佐恵子
1103	橋川　フミ子
2939	畑谷　楠代
4027	濵路　幸男
2768	浜松　きくみ
1841	羽山　喜一郎
2941	原　貞子
3510	表野　直行
3681	廣田　益穂
4399	藤井　孝子
1456	渕上　眞澄
1910	古久保　光行
2865	古田　優
3056	堀江　小昭
4155	堀本　マツ
4585	前芝　麻男
3454	前田　まさよ
2113	益　美和
2960	松岡　幹能
731	松原　久司
4786	松本　早苗
4250	松本　純子
4239	松本　芳夫
880	松山　恒夫
4491	三本　佳美
864	南出　節子
582	宮﨑　郁子
692	宮本　晴代
4846	元田　裕子
3956	森　彰子
4513	森　恵美子
1965	森澤　和恵
3036	森田　修一
1540	森本　大蔵
3767	薮本　イトエ
3768	山岡　千代枝
2306	山崎　清二郎
358	山崎　秀明
1348	山中　節子
712	山本　紗野香
1898	山本　ツユ
1907	山本　亘
1832	龍神　成子
3316	和田　清香
2942	渡邉　ミエ子
2289	渡辺　光夫

★前号で和歌山市内の「住所不明」組合員さんについて、多数の情報提供ありがとうございました。
★すでに死亡などのご連絡をいただいている方で、ご家庭の事情などで自主的に脱退手続きができない方についても、本誌への掲載が定款に定めた手続き上必要であるため掲載しております。あしからずご了承ください。
★住所変更や脱退（死亡含む）は、ご本人かそのご家族の同意が必要です。そのため可能でしたらご本人あるいはご家族から本部へご連絡いただけますよう、お伝えいただけると尚幸いです。